

米国及びカナダにおける日本向けの 牛肉認定施設の査察について (結果報告)

厚生労働省 食品安全部
農林水産省 消費・安全局

目次

1. 輸出プログラム遵守の確認

2. 月齢確認

- (1) 生産記録による月齢の確認
- (2) 生理学的成熟度による月齢の判別

3. と畜場・食肉処理施設におけるSRM除去、対日輸出品の区分管理

4. 飼料規制

- (1) 米国・カナダの飼料規制
- (2) 農場における飼料規制遵守状況
- (3) レンダリング施設における飼料規制遵守状況

5. 今後対応することとした事項

6. その他

- (1) 米国・カナダ産牛肉の監視体制
- (2) 違反事例が確認された場合の対応

1. 輸出プログラム遵守の確認

日本向け輸出プログラムの遵守体制(輸出国)

< 米国の場合 >

特定の品質条件



組織

訓練

製造条件

製品管理

木適合 是正 予防

農務省による外部監査

企業による内部監査

手順書作成・管理
記録の保存・管理

日本向け輸出プログラムの概要

日本向け牛肉等の条件

特定危険部位(SRM)はあらゆる月齢から除去

輸出される牛肉は20か月齢以下と証明される
牛由来であること

日本向け牛肉が、処理から出荷まで他の牛肉と
識別されること。

日本向け輸出プログラムのイメージ（製造条件）

月齢証明牛の受け入れ

- ・ 家畜の受け入れ担当者は、自社が規定する月齢証明書及び個体の耳標番号を確認
- ・ 月齢証明牛は他とは異なる待機所の区画（ペン）に収容と畜
- ・ と畜シフトの最初にと畜

枝肉の識別

- ・ 枝肉は、特別の計量タグにより識別

部分肉処理

- ・ 部分肉処理シフトの最初に処理

製品の識別

- ・ 固有の製品コードで識別

日本向け輸出プログラムのイメージ（モニタリング）

ペンにおける牛の分離

計量タグの適正使用

月齢確認牛の頭数と冷蔵庫での枝肉の数量
の突合

日本向け部分肉処理が作業開始時に実施さ
れること

日本向け部分肉処理終了時に、日本向けラ
ベルがパッキングエリアから除去されること

脊髄等のSRMの適正除去

日本向け輸出プログラムのイメージ（内部査察）

パッカー内でのEVプログラムの実施状況

- ・最低4半期に一度実施
- ・牛の月齢証明書、牛の供給者の査察結果、日本向け輸出用枝肉の冷蔵庫への搬入、搬出記録等のチェック

牛の供給者の査察

- ・年1回（ただし、問題がない場合は2年に1回 にすることも可能）
- ・月齢確認牛の施設での分離、関係書類の保管状況、識別の実施状況等をチェック

日本向け輸出プログラムのイメージ（予防措置等）

日々の関係者のミーティング

顧客からのフィードバック、査察結果等を通じた不適合情報の収集

不適合事例が発見された場合は是正措置を実施

是正措置の記録

〔 F S I S 検査官からの指摘 〕

輸出プログラムの遵守について

< 米国の場合 >

プログラム参加への申請

審査・認定

AMS監査(年2回以上)

食肉処理場

内部監査

米国政府(農務省)



FSIS検査官が常駐して
監督

出荷



日本向け輸出プログラムの遵守体制(査察)

日本による査察

査察のポイント

日本向け輸出プログラム

日本向け牛肉の条件

- ・SRMはあらゆる月齢から除去
- ・20か月齢以下と証明される牛由来

企業による内部監査

木適合是正予防
製品管理
(モニタリング)
製造条件
(原料トレーサビリティ)
訓練
組織責任権限

農務省による外部監査

手順書作成・管理
記録の保存・管理

日本向け輸出プログラムに適合した
体制整備の確認

- ・輸出プログラムに規定される要件を担保するための作業手順等の文書化
- ・作業手順の適切な実施のための確認システム(内部監査手順の文書化等)

現場においてルールどおりに実施されているかの確認

- ・牛の搬入時の手続き
- ・月齢確認
- ・SRMの除去
- ・日本向けの牛肉と他の牛肉との識別

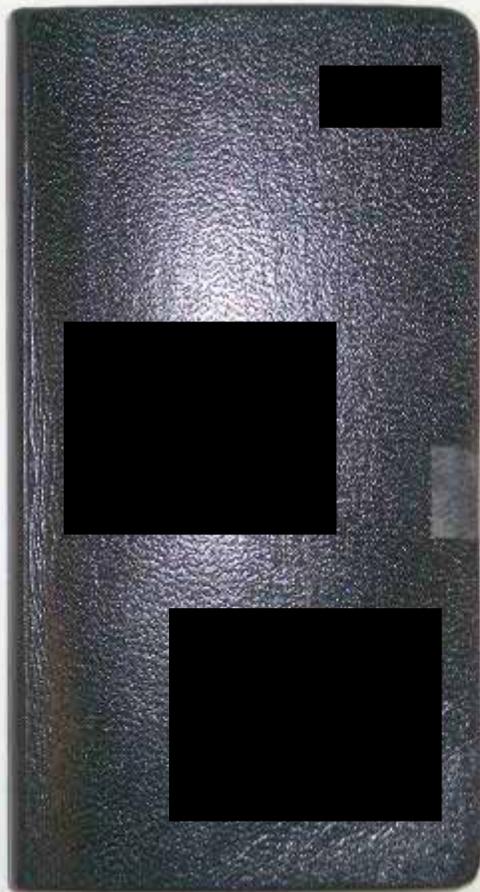
2. 月齡確認

生産記録による月齡の確認

子牛生產農場1 (一貫經營)



子牛生産農場1 (出生記録野帳)



| CALF INFORMATION | | | | | | CALF INFORMATION | | |
|------------------|-----------|-----|-----------|---------|-----------------|------------------|-----------------------|----------|
| Calf ID | Birthdate | Sex | Birth WT. | Sire ID | Calving Remarks | Dam ID | Wearing WT | Comments |
| P091 | 2-7 | H | 75 | 48 | | 086 | | |
| P092 | 2-7 | H | 70 | 63 | | 083 | | |
| P093 | 2-7 | H | 73 | 64 | | 085 | | |
| P094 | 2-7 | B | 70 | 48 | | 085 | | |
| - | 2-8 | - | - | 23 | | 019 | | Dead |
| P095 | 2-9 | B | 80 | 11 | | 082 | | |
| P096 | 2-9 | B | 60 | 22 | | 081 | | |
| P097 | 2-9 | B | 40 | 22 | | 088 | | |
| P098 | 2-10 | B | 72 | 64 | | 086 | | L044 |
| P099 | 2-10 | H | 64 | 23 | | 080 | | L196 |
| P100 | 2-10 | B | 65 | 23 | | 076 | | |
| P101 | 2-10 | B | 52 | 22 | | 081 | | |
| P102 | 2-11 | H | 83 | 22 | | 080 | | |
| P103 | 2-11 | B | 36 | 23 | | 081 | | |
| P104 | 2-13 | B | 73 | 64 | | 032 | | |
| P105 | 2-13 | B | 44 | 22 | | 087 | | |
| P106 | 2-13 | H | 65 | 64 | | 062 | | |

子牛生産農場1 (出生記録データベース)



子牛生産農場2 (放牧)

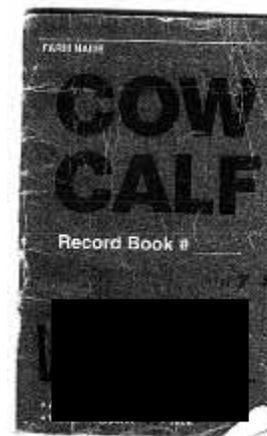


子牛生産農場2 (出生記録)



| CALF INFORMATION | | | | CALF INFORMATION | | |
|------------------|-----|------|------|------------------|---|----------------------|
| 3180 | 308 | 9296 | 3-14 | 70 | H | slow calf |
| 3201 | 320 | 9296 | 3-16 | 66 | B | |
| 3399 | 319 | 9296 | 3-15 | 68 | A | call to stand to eat |
| 3422 | 342 | 9296 | 3-15 | 64 | H | |
| 3190 | 318 | 9296 | 3-15 | 60 | A | |
| 3232 | 323 | 9296 | 3-15 | 60 | A | |
| 3228 | 323 | 9296 | 3-15 | 75 | B | |
| 3442 | 342 | 9296 | 3-15 | 76 | B | |
| 3211 | 308 | 9296 | 3-10 | 68 | H | |
| 3276 | 327 | 9296 | 3-17 | 64 | H | |
| 3299 | 329 | 9296 | 3-21 | 68 | H | |
| 3276 | 326 | 9296 | 3-27 | 70 | B | |
| 3287 | 327 | 9296 | 3-28 | 68 | H | slow start |
| 3299 | 329 | 9296 | 3-28 | 76 | B | |
| 3245 | 324 | 9296 | 3-28 | 66 | H | |
| 3296 | 326 | 9296 | 3-28 | 76 | H | |
| 3318 | 331 | 9296 | 3-29 | 74 | H | |
| 3151 | 315 | 9296 | 3-29 | 74 | B | |

フィードロット(個体識別)

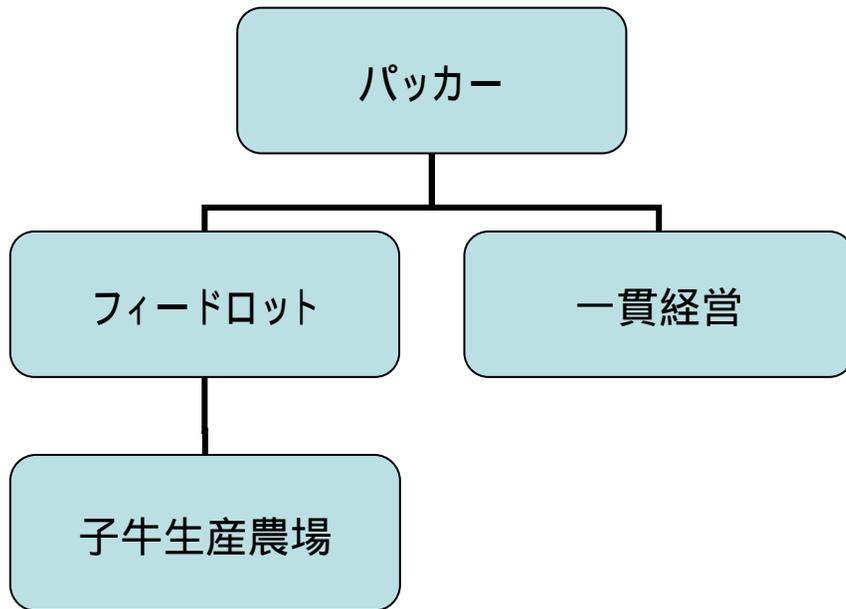


| Cow/Calf | | | | | |
|---------------|-----------------|---------|-----------|----------|---------------|
| Cow No. | Tag Color | Cow Wt. | Date Bred | Sire No. | Calf No. |
| 5 | Calves Lost Tag | | Revised | N | |
| 63 | | | | N | 63 |
| 77 | | | | N | 77 |
| 76 | | | | N | 76 |
| 44 | | | | N | 44 |
| 24 | Lost Calves | | Checked | | 63 |
| 24 | Lost Cow | 612 | Revised | N | 23 |
| 57 | Area by | | | N | 657 |
| 69 | | | | N | 69 |
| 51 | | | | N | 51 |
| 41 | | | | N | 41 |
| 66 | | | | N | 66 |
| 56 | | | | N | 56 |
| 8 | | | | | 8 |

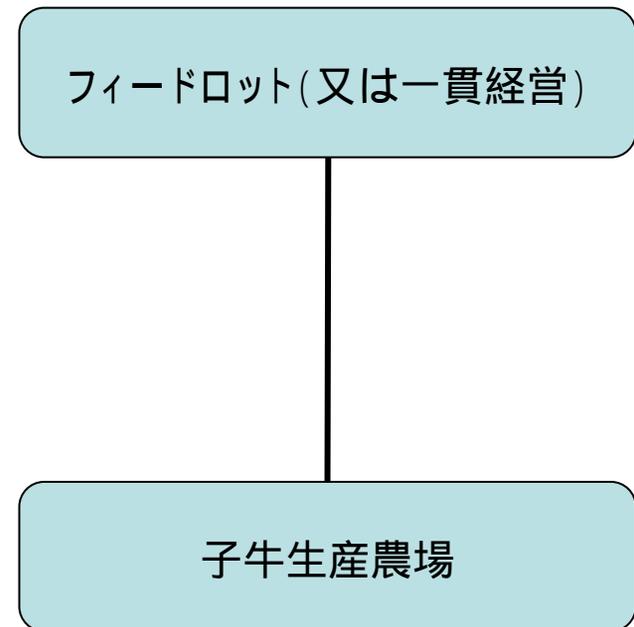
| Record | | | | |
|----------|-----------------|-----------|----------|---------|
| Calf Sex | Calf Birth Date | Birth Wt. | Wean Wt. | Remarks |
| ♂ | 2/15 | | | |
| H | 2/15 | | | |
| B | 2/15 | | | |
| B | 2/16 | | | |
| B | 2/16 | | | |
| ♂ | 2/17 | | | |
| H | 2/17 | | Wear Cow | |
| H | 2/17 | | | |
| B | 2/23 | | | |
| B | 2/24 | | | |
| H | 3/5 | | | |
| B | 3/9 | | | |
| H | 3/13 | | | |
| H | 3/6 | | | |

生産者の位置づけ

パッカーのQSAプログラム
(日本向けEVプログラム)



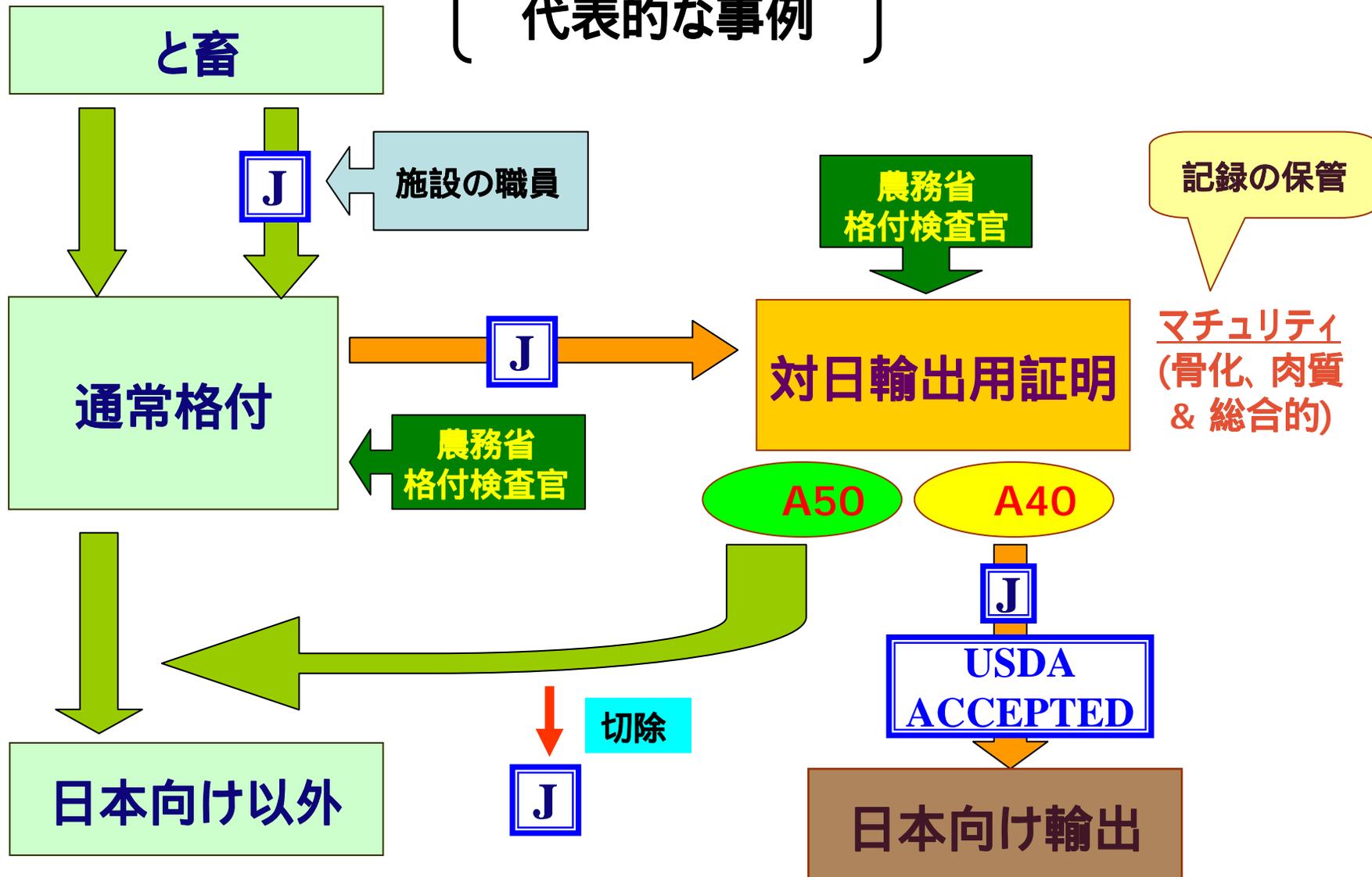
フィードロットの独自のQSA
(又はPVP)プログラム
(年齢認証)



生理学的成熟度による月齡の判別

生理学的成熟度による月齢判別の流れ

(代表的な事例)



生理学的成熟度による月齡判定(米国農務省通知)

(その1)

米国農務省 市場・規制プログラム 農業販売促進局
畜産種子プログラム 食肉格付証明課
(課長通知709 2005年12月12日付け)

United States Department of Agriculture Marketing and
Regulatory Programs Agricultural Marketing Service Livestock
and Seed Program Meat Grading & Certification Branch
(MGC Instruction 709 December 12, 2005)

通知の骨子

1. 通知の目的
2. 参考資料
3. 範囲
4. USDA格付官の認定要件
5. 識別手順

生理学的成熟度による月齢判定(米国農務省通知)

(その2)

1 通知の目的

- ・米国農務省が認定した輸出証明プログラムに含めるための牛枝肉の証明条件を規定
- ・枝肉の証明は、AMSの代表者であって、本通知で定める条件に関して認定された者が実施。
- ・枝肉は生理学的成熟度A40以下と証明される。

生理学的成熟度による月齢判定(米国農務省通知)

(その3)

4 USDA格付官の認定要件

- ・テストで98%の信頼度を確保。
- ・GS-9(expert)以上。

生理学的成熟度による月齡判定(米国農務省通知)

(その4)

5 識別手順

- ・ A40以下の牛枝肉は、証明時に「USDA Accepted as Specified stamp」で識別。
- ・ 全ての枝肉は3 × 3インチの「J」をスタンプ。
- ・ 格付官は、証明された枝肉個々について、生理学的成熟度評価様式で記録。

**3 . と畜場、食肉処理施設
におけるSRM除去、
対日輸出品の区分管理**

SRMの範囲、除去

全月齢の牛からのSRM除去

SRMの範囲：全月齢の牛の頭部（舌、頬肉を除き、扁桃含む）、せき髄、回腸遠位部（盲腸との接続部分から2メートル）、せき柱（胸椎横突起、腰椎横突起、仙骨翼、尾椎除く）

HACCPplanに基づき、SSOP等により実施

- SRM除去、分離、廃棄のための手順を作成、実施
- 実施に関するモニタリングと記録保存
- 各施設の管理の計画及び実施は、米国・カナダ政府が検証

対日輸出品のSRM除去、区分管理手法例 1

生体搬入

歩行困難牛の排除

ロット毎に搬入、耳標による確認

と畜工程

頭部除去、扁桃除去、せき髄除去、回腸遠位部除去

- 耳標データをP C入力、トロリーIDによる個体管理
- 生産記録による月齢確認ロットは前後のロットと間隔をとって処理
- 同一個体由来の枝肉、内臓、頭部は合札により管理

対日輸出品のSRM除去、区分管理手法例 2

枝 肉

- 冷却前の計量時にデータをPC入力し、枝肉にタグを貼付
- 生産記録による月齢確認ロットはスタンプやタグの色・コードなどで識別
- A40以下の可能性のあるものはスタンプを押印し、A40以下のものはUSDA確認印

部分肉処理

せき柱除去

グレード、仕向け先等により処理時間を区分

梱 包

ラベル表示、カートンの色、パレットによる区分

農務省食品安全検査局の対日輸出監督体制

- **ラインインスペクター**
生体検査、頭部検査、内臓検査、枝肉検査(頭部検査では扁桃除去、枝肉検査では脊髄除去の確認を含む。)
- **フロアインスペクター**
SRM管理等衛生管理の検証(上記以外のSRM除去の検証を含む。)
- **対日輸出不適合品を発見した場合の措置**
輸出証明書の署名拒否、AMSへの通報(AMSの査察実施)

4 . 飼料規制

米国・カナダの飼料規制

| | | 給与飼料(米国・カナダ) | | | 給与飼料(日本) | | |
|-------------|---|--------------|----------|----------|----------|---|---|
| | | 牛 | 豚 | 鶏 | 牛 | 豚 | 鶏 |
| 肉 骨 粉 | 牛 | × | × (注) | × (注) | × | × | × |
| | 豚 | | | | × | | |
| | 鶏 | | | | × | | |

注:米国は30ヶ月齢以上の牛由来の脳、脊髄等の高リスク

原料を、カナダはSRMを給与飼料から排除することを検討中。

● 交差汚染対策

米国・カナダ: クリーニング方式

日本: クリーニング方式 ライン分離 2005.4

米国・カナダ飼料規制で定める主な内容

(飼料規制で定める禁止原料)

- ほ乳動物由来のたん白質を反すう動物に給与することを禁止

(規制対象除外品目)

- 血液及び血液製品、ゼラチン、残飯など調理して食用に供された後に熱処理の上、飼料に供される検査済み肉製品、乳製品(乳及び乳タンパク)並びに豚または馬のタンパクのみからなる製品、動物性油脂製品

注：下線部は米国のみ

米国・カナダ飼料規制で定める主な内容

(表示)

- 対象: レンダリング業者、たん白質ブレンダー、飼料製造業者及び流通業者
- 内容: 「牛その他の反すう動物に給与してはならない」旨表示

(記録の保存)

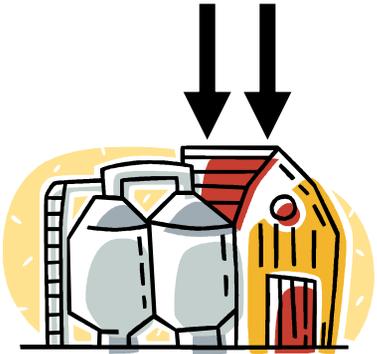
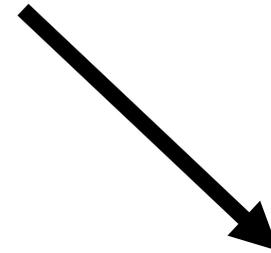
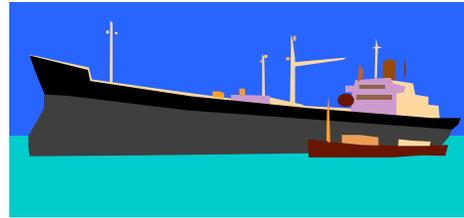
- 内容: 送付状、ラベルの写しなどを1年以上保管
- その他: 記録は検査を受けるときに示せるようにしておく。
注: カナダは2年以上保管

(交差汚染防止対策)

- 対象: ほ乳動物由来のたん白質を含む又はその可能性のある製品とそれ以外の製品の両方を製造している業者
- 対策: (A) 製造施設を分離 又は
(B) キャリーオーバーを防ぐための製造工程のクリーニング
- その他: クリーニングの方法は文書化し、記録を保存。検査を受けるときに示せるようにしておく。

農場における飼料規制 遵守状況

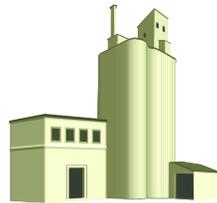
米国・カナダの飼料流通 (牛用飼料の主要経路)



単味原料

米国

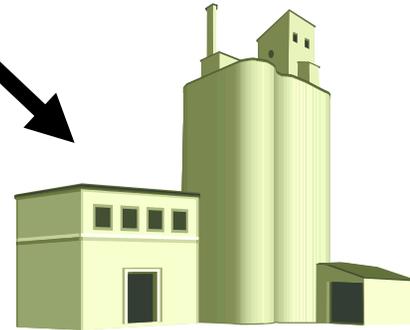
カナダ



配合飼料
補助飼料



単味原料



配合飼料

日本



自家配合農家



農家

生産段階での飼料規制遵守状況

(調査対象)

- パッカーに牛を供給しているフィードロット2カ所、フィードロットに肥育素牛を供給している育成農場3カ所及び酪農場1カ所を調査

(調査結果)

- 反すう動物由来のたん白質を含む動物性たん白質の給与は補助飼料(サプリメント)を含め認められなかった
- 油脂(イエローグリース)を配合した飼料を用いている農家があったが、植物及び廃食用油を原料として使用

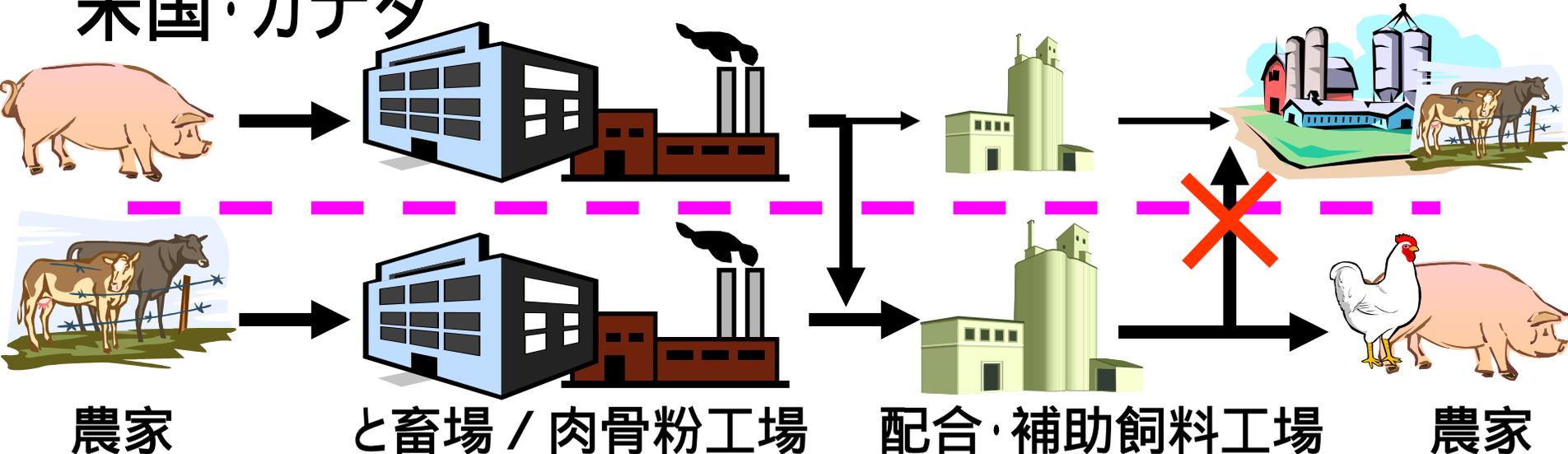
生産農家からパッカーへの宣誓書の提出

- 調査した全てのパッカーは、牛を供給する生産農家に対し、原則として年1回の宣誓書の提出を要求
- 宣誓書には米国の飼料規制等を遵守して生産する旨記載
- 提出が行われていない農家からの牛の受入は拒否
- 宣誓書の内容への違反が判明した際には、取引停止等の措置を実施

レンダリング施設における 飼料規制遵守状況

レンダリング産業と肉骨粉利用の概要

米国・カナダ



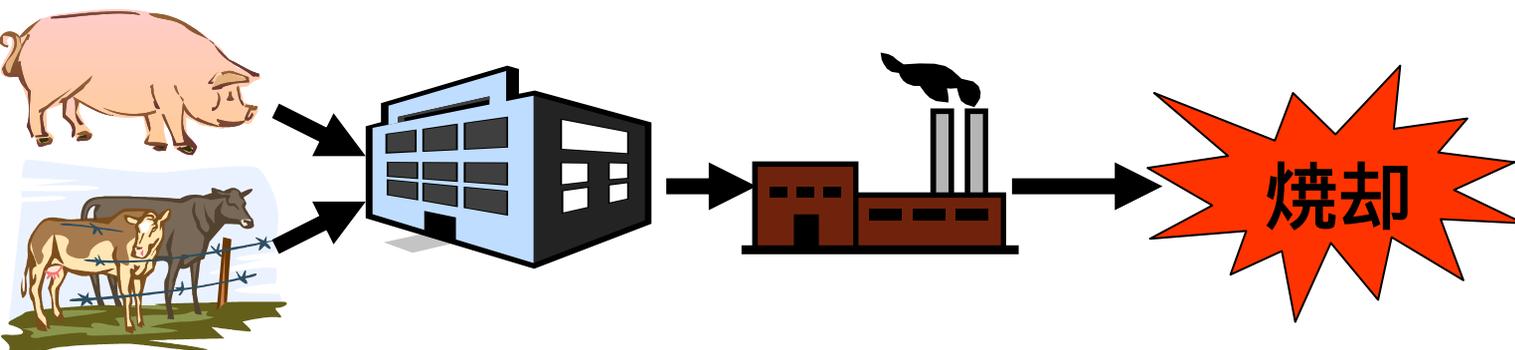
農家

と畜場 / 肉骨粉工場

配合・補助飼料工場

農家

日本



焼却

レンダリング施設の飼料規制遵守状況

(調査対象)

- パッカー併設レンダリング施設 8 施設

(米国食品医薬品局(FDA)による検査状況)

- FDA や州政府により、原則として年一回の立入検査を実施
- これまで飼料規制への違反歴なし

(製造品目)

- 禁止品目：肉骨粉、ゲルボーン(ゼラチン原料の骨)
- 非禁止品目：血粉及び動物性油脂(食用タロー、非食用タロー)

レンドリング施設の飼料規制遵守状況

(製造ラインの専用化の状況)

- 製造品目毎に製造から出荷までの工程が専用化

(輸送)

- 自主検査・クリーニング等が行われた貨車または車両により輸送

(表示)

- 出荷伝票に「反すう動物の飼料に用いてはならない」旨を明記

米国・カナダの飼料規制遵守状況 調査結果(まとめ)

- 農場においては、禁止原料は使用されておらず、飼料規制からの逸脱は認められなかった。
- レンダリング施設においては、禁止原料である旨の表示が行われるなど、飼料規制からの逸脱は認められなかった。
- パッカーはフィードロットに対して、飼料規制等の法令を遵守して生産している旨の宣誓書の提出を求め、生産段階における飼料規制等の遵守を担保していた。

今後対応することとした事項

- 多くの対日輸出施設では、対日輸出用の部分肉処理作業を作業開始時に実施し、対日輸出用以外の部分肉との分別を図っているが、全ての施設で同様の対応がとられるよう米国政府が指導。
- SRMの定義が、日本向け輸出基準と米国の国内規制で異なっていることから、定義の違いだけでなく、処理に当たっての留意事項についても、認定施設の品質マニュアルに明記するよう米国政府から対日認定施設へ通知。

米国・カナダ産牛肉等の監視体制

輸出国

日本向け牛肉等輸出認定施設



衛生証明書の発給
(政府機関)

- 二国間協議
- 現地調査・査察

輸入者

届出

動物検疫所(農林水産省)

検疫所(厚生労働省)

書類審査(衛生証明書の確認(施設名、品名等))

現場検査(貨物の表示等の確認、SRM混入の有無等)

合格

不合格

廃棄
又は
積み戻し

国内流通

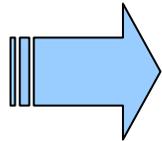
説明・指導

違反情報

輸入時

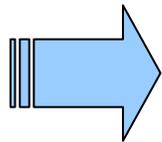
違反事例が確認された場合の対応

日本による査察や検疫において、重大な日本向け条件の遵守違反が確認された場合



当該施設からの日本向け輸出を直ちに停止。
是正措置がとられたことが確認されるまでの間、停止を継続。

重大な日本向け条件の遵守違反が繰り返されるようなシステム全般に係る問題が確認された場合



輸出国全体からの輸入停止を検討